

すぐに! 親身に! 誠実に!

芦屋市議会議員

たはら としひこ
田原 俊彦

1983年3月 創価大学法学部卒業

2002年12月 三井住友銀行退職(約20年在職)

2003年4月 芦屋市会選挙で初当選、現在5期目

防災士 ひょうご防災リーダー 全国手話検定5級 お客様対応専門員(CAP)

ユニバーサルマナー検定3級 メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種



第63号 2021/11月発行

令和3年9月 第3回定例会のご報告

1

田原の一般質問

スケートボードができる場所の確保を



(西宮市内のスケートボード施設)

芦屋市内に安全で安心してスケートボードを楽しめる場所の確保を求めました。

最近、道路上や公園などで若者たちがスケートボードを楽しむ姿を見かけます。通行の妨げにならないよう気を使ってスケートボードをしているようですが、時々周囲から苦情の声が寄せられます。

東京オリンピックでのスケートボード競技で、若い世代の活躍が注目されました。

市は、平成31年「芦屋市スポーツ推進実施計画(後期)」の具体的施策の中で、スポーツ環境の整備としてスケートボードを盛り込んでいます。市として適切な場所の確保を求めました。

2

田原の一般質問

子宮頸がん予防ワクチンの情報提供を

子宮頸がんで年間約10,000人近くの女性が子宮頸がんにかかり、約3,000人もの女性が命を落としています。子宮頸がんワクチンは、2013年には定期接種(無料・接種対象年齢は、12歳から16歳の女子)となったものの、同年6月より、国は接種の積極的な勧奨を差し控えるとなりました。

そのため、多くの自治体に対象者への通知をやめてしまい、一時期高かった接種率が1%未満にまで激減。

国は昨年从去年から今年にかけ、ワクチンの定期接種の対応および対象者等への周知について通知を出し、自治体に定期接種対象者へ情報提供の徹底を求めました。これを受けた市の対応を尋ね、さらに接種機会を逃してしまった方へのキャッチアップ接種についても、国の動向を十分に注意し、適切な助成が行えるように要望をしました。

10月の新聞報道によると、厚労省の専門部会は、2013年以降中止していた積極的な勧奨の再開を認めることで一致。今後、接種機会を逃した方への対応、副反応が出た場合の相談体制の整備などの具体策の検討が進むようです。これからの動向を注視して取り組んでいきます。

3

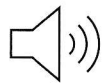
田原の一般質問

コロナ禍の集会所使用について

緊急事態宣言ごとの集会所使用の考え方、あり方について、質問しました。

昨年春、第1回目の緊急事態宣言の時は、集会所は閉館となり、使用ができなくなりました。一方、この夏(第4回目)の緊急事態宣言では、第1回目よりも感染者数が急増しているにもかかわらず、定員50%として使用を認めていました。このように、同じ緊急事態宣言下にもかかわらず、集会所使用についての対応が違うことについて、尋ねました。

今後もこのような状態が続くと予想されます。市民にとって、わかりやすい集会所の使用ガイドラインを整理していく必要があると思います。



Topics トピックス

議員提出議案で

個別外部監査制度が実現！

昨年から有志の議員と研究を進めてきた個別外部監査制度。9月定例会で、同制度の条例案を私と同僚議員で、議員提出議案として提出しました。

採決の結果、賛成16、反対4（議長は採決に入らず）の結果、可決成立することができました。

制度導入によって、専門的知識を持った外部専門家（公認会計士など）の監査を受けることが可能となり、いまの市の監査機能をより一層充実でき、強化を図ることが期待できると考えています。

やっとスタート地点に立ちました。まだ他の自治体でも、個別外部監査の活用事例は多くありません。今後、運用が当初の目的に沿うように、これからも研究し努力していきます。

市議会議員研修会が開かれました

「コロナ禍における子どものストレスについて」



(研修のようす 2021.10.27)

講師は、兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科の冨永良喜教授です。いまの学校は、いじめ事件をきっかけに教科となった道徳の授業は多いものの、ストレスへの対処法など心の健康を学ぶ授業が少なく、もっと増やすことが大切だと教えていただきました。

また新型コロナにかかった場合、誹謗中傷・差別を生まないためにも、コロナに対する正しい知識を得る必要性を指摘。

社会全体が、感染した方を思いやって応援する姿勢を示すことが重要であり、災害体験のように、コロナの感染した体験を安心して語れるような社会に変革していくことだと感じました。

教育委員との懇談会を開きました



市議会民生文教常任委員会の委員7名と、芦屋市教育委員5名との懇談会を開きました。

委員長である私から、教育長へ申し入れし、実施する運びになりました。市議会の委員は、毎年顔ぶれが変わり、教育委員のみなさんも任期で変わっていきます。

市議会委員と教育委員の率直な意見交換は大変有意義な時間でした。今後も同様な機会をつくっていきたいと考えています。(写真前列は、教育委員の方々。撮影時はマスクをとっています)

☆北極星☆

6月議会の一般質問で、私は、今後予測される大規模災害に備え、市民への物資の確保のために、市はドラッグストアと防災協定を結ぶように提案をしました。これを受け芦屋市は、さきごろ、コーナンと災害時における物資の供給に関する協定を締結しました。ホームセンターは、ドラッグストアと同様、生活に必要な日用品を多く扱っており、協定を事前に結んでおくことは、物資の安定確保につながると考えます。自助も大切ですが、公助についても、危機管理の観点から日頃の備えが大切だと考えています。



SNSで活動を配信中!

過去の活動も
ご覧頂けます。



友達追加はこちらで